

第58回 人権を考える大津市民のつどい
志賀ブロック

夏の集会

阪神淡路大震災記念館「人と防災未来センター」ブルーのライトアップは医療従事者への感謝を示しています

人権尊重を基盤とした個性と魅力あふれるまちづくりをめざして

2026年 7月11日(土)

10:00~12:00(受付 9:30~)

和邇文化センター ホール

入場無料

私の体験

防災は、人のつながり

「ありがたい」と感じたのは、
水・知恵・人のこころ

講師

「人と防災未来センター」語り部

秦 詩子さん



主催:大津市「人権・生涯」学習推進協議会連合会

小松・木戸・和邇・小野学区「人権・生涯」学習推進協議会

人権を守る大津市民の会・滋賀県人権教育大津研究会

大津市・大津市教育委員会

問合せ:小松支所 ☎077-596-0001 月~金 9:00~16:00

人権を考える大津市民のつどい本部事務局 ☎077-528-2635

午前7時の時点で当該地域に
暴風警報や「新たな防災気象
情報」による警戒レベル3以
上が発令されている場合は、
開催を中止いたします。

語り部さんのインタビュー記事『震災を語る』第3回

秦 詩子さんのインタビュー記事より一部抜粋

私の体験

地震なんて他人事、あの日まではそう思っていました

震災当時、私たち家族が暮らしていたマンションは高速道路がつぶれた場所のすぐそばにありました。1階がつぶれてしまって自宅への立ち入りが禁止になるなど、このあたりはもっとも被害が大きかった地区です。

「地震なんて人ごと」ずっとそう思っていたから、何ひとつ防災の用意はなく、意識もゼロに近い状態でした。突然襲ってきた大地震によって、家の中はミキサーにかかったようにもうめちゃくちゃ…しばらくは何が起こったのか全くわかりませんでした。

しばらくして主人や息子の無事を確認し、危険迫るマンションを出てみると、そこは一面がれきの山。空が明るみはじめ、少しずつ状況が見えてきたのですが、変わり果てた街は驚くほどしんと静まり返っていました。

震災から30年、2025年の1.17のつどい あの日を忘れず、未来に伝えよう

